

事業の目的

水素の普及及び利活用の拡大を目的に、国立大学法人山梨大学、（一社）FCyFINE PLUS、甲府工業高校専攻科、民間事業者が連携・協力し、小口水素アプリケーションの研究開発及び活用方法の検証等を通じた水素リテラシーの向上や、将来の技術者・研究者としての人材育成を図る。

事業スキーム

「小口水素アプリケーションの制作等を通じた人材育成プロジェクトチーム」の結成



甲府市、山梨大学、（一社）FCyFINE PLUS、甲府工業高校専攻科の4団体によるプロジェクトチームを結成し、水素・燃料電池を用いた小口水素アプリケーションの製作等を通じた人材育成、小口水素の利活用先の調査・発掘等を行う。なお、製作するアプリケーションについては、毎年度、民間事業者の技術支援を受け、新たなアプリケーションの製作を行う。

令和6年度：水素・燃料電池ドローン 【技術支援：株式会社ロボデックス】

令和7年度：水素・燃料電池発電機【技術支援：日邦プレジジョン株式会社】

プロジェクトチーム

甲府市



プロジェクトチームの団体等と連携・協力により、未来の水素社会を担う専門性の高い人材育成を行う。

山梨大学



水素・燃料電池発電機の製作にあたる甲府工業高校専攻科の生徒に対し、水素・燃料電池に関する講義等を実施し、知識の定着や水素リテラシー向上を図る。

FCyFINE PLUS



FCyFINE PLUSの加入企業をはじめ、関係各社等への情報発信を実施し、水素エネルギーの需要家を創出する。

甲府工業専攻科



山梨大学による水素・燃料電池に関する知識の習得、日邦プレジジョン(株)による技術的支援を受けながら、水素・燃料電池発電機の製作を行う。

日邦プレジジョン(株)



甲府工業高校専攻科の学生に対し、水素・燃料電池発電機の製作から実装までの一連の技術的支援を行い、本プロジェクトをサポートする。

技術支援